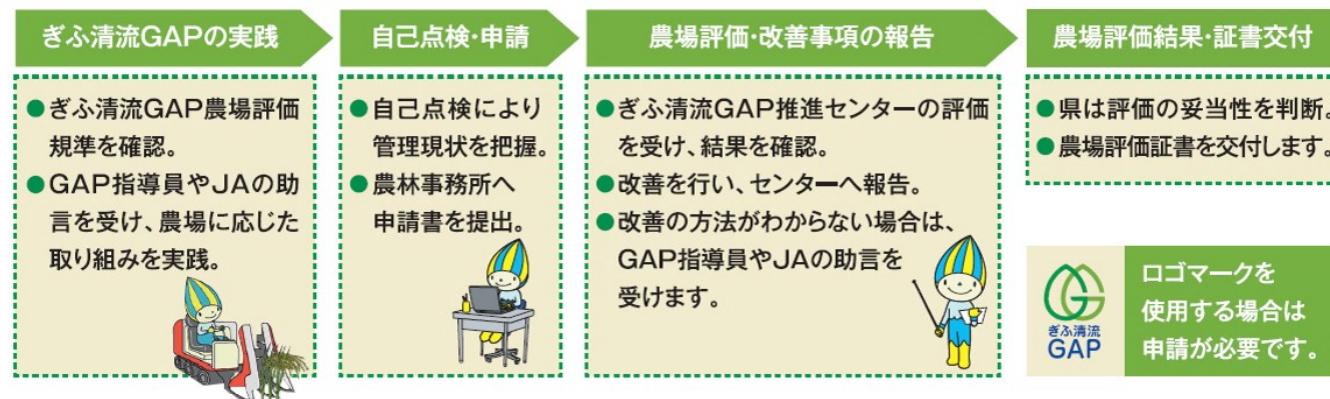


## ぎふ清流GAP評価制度の流れ



GAPにチャレンジしてみたい、GAPについて詳しく話を聞きたい方は、下記の「ぎふ清流GAP総合相談窓口」へご相談ください。GAPの指導を受けたい場合や「ぎふ清流GAP評価制度」の申請を申し込む場合は、お近くの農林事務所までご相談ください。

ぎふ清流GAP総合相談窓口	
<b>GAP全般について、清流GAPの評価について</b> 一般社団法人 岐阜県農畜産公社 <b>ぎふ清流GAP推進センター</b> 〒500-8385 岐阜県岐阜市下奈良2-2-1 岐阜県福祉・農業会館内 ☎ 058-216-1566	<b>ぎふ清流GAP評価制度や支援について</b> <b>岐阜県農政部農産園芸課</b> 〒500-8570 岐阜市薮田南2-1-1 ☎ 058-272-1111(代表)

GAPの指導やぎふ清流GAP評価制度の申請に関する相談窓口	
お近くの農林事務所へご相談ください。 <b>GAPにチャレンジしたい、アドバイスが欲しい時</b> 農産物については、農業普及課へ 林産物(きのこ類)については、林業課へ	

### 各地域農林事務所 相談先一覧

岐阜農林事務所	〒500-8384 岐阜市薮田南5丁目14-53	☎ 058-213-7904
西濃農林事務所	〒503-0838 大垣市江崎町422-3	☎ 0584-73-1111(代表)
揖斐農林事務所	〒501-0603 揖斐郡揖斐川町上南方1-1	☎ 0585-23-1111(代表)
中濃農林事務所	〒501-3756 美濃市生櫛1612-2	☎ 0575-33-4011(代表)
郡上農林事務所	〒501-4292 郡上市八幡町初音1727-2	☎ 0575-67-1111(代表)
可茂農林事務所	〒505-8508 美濃加茂市古井町下古井2610-1	☎ 0574-25-3111(代表)
東濃農林事務所	〒507-8708 多治見市上野町5-68-1	☎ 0572-23-1111(代表)
恵那農林事務所	〒509-7203 恵那市長島町正家須田1067-71	☎ 0573-26-1111(代表)
下呂農林事務所	〒509-2592 下呂市萩原町羽根2605-1	☎ 0576-52-3111(代表)
飛騨農林事務所	〒506-8688 高山市上岡本町7-468	☎ 0577-33-1111(代表)



岐阜県では、GAP(ギャップ)に取り組む農林業者の支援強化と、安全・安心な農林産物を供給するため、令和2年11月から新たに「ぎふ清流GAP評価制度」をスタートしました。「ぎふ清流GAP」へのチャレンジが、岐阜の農業をもっと元気にします!



### ロゴマークに込められた想い

「ぎふの豊かな自然」、「持続的な農業」といった制度のコンセプトを踏まえて作成しました。岐阜の「G」とGAPの「G」を重ねたデザインで、その形や重なりで、田畠、森、永く続く豊かな岐阜の自然をイメージしています。

清流の国ぎふ



岐阜県は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています



**G** Good 良い **A** Agricultural 農業の **P** Practice 実践、やり方

農業経営を永く続けるために  
「BAD(悪い)」ところを  
「GOOD(良い)」へ改善する取り組み  
=「農業現場の改善活動」



※写真はイメージです



### GAPに取り組むメリット

#### ① 食品安全

- 残留農薬リスクの低減
- 病原性大腸菌など微生物汚染の低減
- 金属などの異物混入の低減



#### ② 環境保全

- 土壤や水質汚濁の防止
- 生物の多様性の維持



#### ③ 労働安全

- 農作業事故の防止
- 講習等の受講による技能の向上



#### ④ 農場経営管理

- ルールや記帳に基づく効率的な経営の実現
- 情報の見える化による円滑な事業継承や担い手育成の実現
- 従業員の自主性の向上



#### ⑤ 人権保護

- 他産業並みの労働条件の実現
- 女性・障がい者・外国人実習生をはじめすべての人が働きやすい環境整備



ぎふ清流  
GAP

### ぎふ清流GAP評価制度とは?

環境保全、食品安全、労働安全などの観点から、農場で起こりうるリスクを洗いだし、その改善状況を評価する制度です。

農場のGAPレベルや問題点がわかり、農場管理の改善・向上に役立てることができます。



GAPは農業経営の土台になる一番大切な取り組みです



信頼される農場になる

- 消費者・販売者から選ばれる農場
- 地域をリードする農場
- 従業員が安心して働ける農場

これらが実践されたことにより

生産から出荷に関わるすべての人が連携・協力しあい一体となってGAPに取り組むことで信頼される産地になる



具体的な目標があるので、働く楽しさを感じ作業ルールが決まったので迷うことなくなつた。

話し合う機会が増えコミュニケーションがとりやすくなつた。

食品安全の意識が高まり、取引先との信頼が強まつた。

GAP実践者の声

帳簿の作成や防虫ネット等の畑の整備など、GAPの実践は、最初は面倒かもしませんが、農業を産業として考えるなら当たり前のこばかりです。安全性を第三者に見てもらえるのは、自分の自信になりますし、販路拡大へのPRにもつなげてきたいと考えています。



各自の競争意欲や目標が芽生え、生産性の向上に加え、成果もはっきりと見えるようになりました。自信をもって販売もでき、バイヤーとの信頼関係も深まりました。GAPの実践は、体制を整えるまでは大変でしたが、今では栽培の一つとして、当たり前に思えるようになりました。



手順書や帳簿で作業内容がすぐに確認できる



倉庫の中が整理され道具が清潔に保管されている



農薬は籠のかかる場所で保管されているトレー等を敷き、流出を防いでいる



適切に燃料が保管されている危険を知らせる表示がある

農場評価証書(例)

